



スポーツフェスティバルの主役は、だれ？

副校長 中村 正洋

少しずつ暑さも和らぎ、秋の訪れを感じる季節となりました。学校では、スポーツフェスティバル(以下 SF)に向けた取組が始まり、校庭や体育館から子どもたちの元気な声が聞こえてきます。走ったり、踊ったり、友達と力を合わせたりしながら、一人ひとりが本番に向けて練習を重ねています。

「スポーツ」という言葉を聞くと、みなさんはどのような姿を思い浮かべるでしょうか。速く走ること、ボールを上手に扱うこと、試合に勝つことなどを思い浮かべる人も多いかもしれませんが、しかし、スポーツの関わり方は、「する」ことだけではなく、「みる」「支える」「応援する」など、様々な関わり方があります。

SF も同じです。競技で力いっぱい走る子、表現運動で友達と動きをそろえようとする子がいます。そして、自分の競技が終わっても仲間に大きな声援を送る子、係の仕事に責任をもって取り組む子、緊張している友達に「大丈夫だよ」と声をかける子もいます。運動が得意かどうかに関わらず、SF には一人ひとりが力を発揮できる場面があります。

SF では、どうしても「何位だった」「勝った、負けた」という結果に目が向きがちです。もちろん、勝利やよりよい記録を目指して一生懸命取り組むことも、スポーツの大きな魅力です。しかし、それと同じくらい、そこに至るまでの努力や仲間との関わりにも目を向けたいと思います。昨日までできなかったことができるようになった、友達と何度も練習して動きがそろった、最後まで諦めずに走り切った。そんな一つ一つも、子どもたちにとって大切な成長です。

当日は、競技や演技だけでなく、ぜひその周りにも目を向けてみてください。仲間を応援する姿、係として SF を支える姿、友達と喜び合う姿など、きっとたくさんの素敵な姿が見つかると思います。

子どもたちにとって SF は一年の中で大きな行事の一つです。運動が好きな子も嫌いな子もいますが、それぞれの子が自分自身と向き合い、大変な練習を乗り越えたり、友達と協力したりしながら、様々な経験や思いを重ねて本番を迎えます。SF の「主役」は、そこに参加する子どもたち一人ひとりです。ぜひ、本番では子どもたちがここまで積み重ねてきた過程にも思いを寄せながら、温かく応援していただければと思います。それぞれの子どもが自分なりの力を発揮し、互いの頑張りを認め合える一日になることを願っています。